

「よみがえれ富士山測候所」

NPO 法人富士山測候所を活用する会・認証記念シンポジウム

人々が支えた富士山測候所～今熱き人間ドラマが明らかに!～



5月26日(金) 時間：18:30～20:30

会場：新宿アイランドウイング 15階 世界遺産ギャラリー

プログラム

あいさつ 中村 徹 (会長・元運輸事務次官)

プレゼンテーション 18:40～19:00

「富士山測候所の高所科学研究拠点へのアプローチ」土器屋由紀子 (副理事長・江戸川大学教授・大気化学)

パネルディスカッション 19:00～20:30

「人々が支えた富士山測候所～今熱き人間ドラマが明らかに!～」

富士山測候所の建設時のビデオ上映や測候所の歴史、内部をスライドで紹介

コーディネーター 渡辺豊博(理事兼事務局長・(財)静岡総合研究機構研究室長)

パネリスト 伊藤庄助氏(元大成建設(株)・富士山測候所建設現場監督・NHK プロジェクト X 出演)

福島晨次氏(元富士山測候所長)

手塚正一氏(元富士山測候所長)

コメンテーター 浅野勝己(理事長・筑波大学名誉教授・高所医学)

岩坂泰信(理事・金沢大学教授・大気化学)

山本 智(学術科学副委員長・東京大学教授・宇宙物理学)

入場無料

主催：NPO 法人富士山測候所を活用する会

開催趣旨

当会は気象観測施設としての使命を終え、解体の危機にある富士山測候所を、学術研究、青少年教育、登山技術の向上など、様々な分野で有効に活用することを活動の目的として、平成 17 年 11 月 27 日に設立されました。その後、内閣府に NPO 法人の認証申請を行い、本年 4 月 28 日付けで認証を受けました。この法人化により当会の社会的信用度が高まるとともに、契約などの法律行為の主体となることもでき、富士山測候所の受け皿団体としての前提条件が整うなど、活動の新たな展開が可能となりました。

そこで新しいスタートといえる認証を記念して、NHK プロジェクト X 第 1 回目で紹介された富士山測候所レーダードーム建設の現場監督であった伊藤庄助氏と富士山測候所の元所長である福島晨次氏、手塚正一氏から、富士山頂という特異な環境でのご苦労や富士山、富士山測候所への熱い想いをお聞きます。

会場案内図

よみがえれ富士山測候所・アピール宣言

1. 富士山を使った様々な観測・研究は富士山が国際的にみても、他に代え難い価値を持った地点にあることから、大変ユニークなものであり、アジアでは貴重で希少なものである。
2. 富士山頂の施設を利用した観測は、一日でも早く行われるべきであり、何もせずに放置しておくことは、日本の科学技術の発展上「もったいない」といえる。
3. 富士山を利用した観測・研究は国内外にある種々の観測・研究と連携・協力して行われると、よりすばらしいものとなるだろう。
4. 富士山での観測・研究をより実りあるものにするためには、種々の周辺施設・設備の充実が望まれる。このことによって、富士山での観測・研究は一段と国際的な広がりを持ち、地球規模の「環境監視タワー」としての役割を目指すものとする。
5. 今後のアジアの急速な発展を受け、富士山での観測・研究は、ますます重要な役割が期待されることから、一日も早い観測・研究・教育等の「高所科学研究拠点」としての多様な活用が行われるべきである。

2006年3月5日 富士山測候所国際シンポジウム出席者一同



新宿アイランドウイング

東京都新宿区西新宿 6-3-1

申込書

定員 120 名(先着順 入場無料)

下記申込書に必要事項をご記入の上、5月22日(月)までに、FAX、Eメール、郵送にてお申込みください。
(定員になり次第締切りとさせていただきます。また、当日空席があれば事前のお申込がなくてもご入場できます。)

〒102-0081 東京都千代田区 4 番町 11 - 4 四番町ホームズ 1 階 (株) プリマベール内 東京事務局

FAX 03-3265-3140 TEL 03-3265-6701 E-mail / npofuji3776@yahoo.co.jp

フリガナ お名前		お電話	
ご所属 (団体・学校名等)		F A X	
ご住所			
E - mail			

本申込書にご記入されました個人情報については、本シンポジウムの業務以外で使用することはありません。